

被害の状況

崩落した岩石に塞がれた県道と、直撃を受けた車両。車両内の2名は後部座席にいたため、奇跡的に助かった。(溝口町)

この地震では、県西部地区を中心に大きな揺れが発生し、これによって県西部を中心に県内各地で非常に大きな被害が発生した。県内の人的被害は、重傷者31名、軽傷者110名の計141名である。県内の住家被害は、全壊394棟、半壊2,472棟、一部破損14,134棟と多数発生している。原因として、直接地震の揺れにより損壊したもののほか、地盤の液状化により地盤沈下、傾斜などしたものがあつた。そのほか、公共土木施設、農林水産業施設をはじめ、各種施設などに被害が発生した。また、一部で水道が断水したほか、交通機関、通信等にも混乱が生じた。(被害状況一覧については、表紙裏面を参照)

人的被害

この地震では、幸いにも死者はなかったが、県内12市町村で141名の負傷者が発生した。負傷原因の一例は次のとおりである。

区分	市町村名	性別	年代	負傷程度	被災の状況
重傷	米子市	男性	40	右足、腰を骨折	塀が倒れてきて下敷き
		女性	30	腕、鎖骨を骨折	本屋で本棚が倒れてきて下敷き
		女性	50	股関節骨折	避難中に転倒
		男性	50	両足骨折	地震の揺れでハシゴより落下
		女性	20	右足首骨折	地震の揺れで階段から転落
		女性		肋骨及び左足骨折	
	境港市	女性	60		本棚が倒れ下敷き
		女性	80	左下腿部骨折	避難中に転倒
		女性	60	左下腿部骨折	ブロック塀が倒れ受傷
		女性	80	左大腿骨頸部骨折	
		女性	60	左大腿部痛	
		女性	60	右踵骨骨折	
		女性	50	左小指骨折	
		男性			
	西伯町	女性	70	大腿骨骨折	避難中に転倒
		女性	80	手首骨折	
	会見町	女性	80	左足(骨盤との付け根)骨折	トイレから出て扉を閉めようとしたとき、ノブにつかまっていたが体をひねって転倒
		女性	70	右手首骨折	屋外で転倒
	淀江町	女性	70	左大腿骨頸部骨折	避難する際に瓦が落下してきたため転倒
	大山町	男性	20	右肘骨折、左足打撲	営林署の作業委託により、大山一ノ沢付近で作業中の建設会社社員が、地震により50~100メートル滑落
女性		40	左手小指骨折		
日野町	男性		左大腿骨開放骨折		
	女性	70	左膝々蓋骨骨折	工事現場(濁谷地内砂防ダム)で下半身が土砂に埋まった	
	女性		右肩~腕、顔火傷		
	女性	60	大腿骨頸部骨折	家の前で転倒	
	男性	30	両足骨折	家屋倒壊~救出	
溝口町	女性	60	右大腿部骨折	夫婦2名が待避所に自動車を停め休憩中、落石によりフロントガラス等が壊れ、車両に閉じ込め。大声で救助を求め、近くの内田スプリング工場の工具5~6名が駆け付け、車両から救出	

区分	市町村名	性別	年代	負傷程度	被災の状況	
軽傷	倉吉市	男性	10		教室のテレビモニターが落下	
		女性	20	打撲、切り傷	机の下に閉じ込め	
	米子市	女性	80		自転車で転倒	
		男性	40		地震におびえ精神不安定	
		女性	50	打撲、すり傷	地震で転倒	
		女性	30		物が落ちてきて手を切り、数針縫った	
		女性	90		地震で転倒	
		男性	10	打撲	学校で机の上の椅子が落下	
		男性	10	打撲、すり傷	学校で足を滑らせ打撲、すり傷	
		女性	0	右下腿部打撲		
		境港市	女性	80	左下腿部骨折	テレビが落下
			男性	70	火傷	食事中
	女性		70	火傷	食事中	
	男性		10	頭部打撲		
	女性		10	左足部打撲		
	女性		30	左手打撲		
	女性		50	左膝打撲		
	女性		70	後頭部打撲		
	男性		70	右中指挫傷		
	女性		20	左右リスフラン関節捻挫		
	女性		80	右大腿打撲		
	女性		60	頭部外傷		
	女性		30	口を切って 出血		
	女性	10	右足挫創			
	西伯町	男性	20		サッカーのゴールポストが倒れ額にけが	
		男性	50		避難中に転倒	
		女性	70		自転車で割れ目に落ち顔にけが	
		男性	60		自転車で転倒	
		女性	70		避難中に転倒	
		女性	80		テレビが落下	
	会見町	男性	50	頭部4針縫う	室内で電灯が落下。抜糸後、12月に入ってからも頭部からガラスの破片が出てきた	
	大山町	男性	20	顔面及び両足擦過傷	登山中に大山三鉢峰付近で2メートル滑落。自力ではい上がった後、ユートピア小屋周辺で登山道崩壊のため孤立。携帯電話で救助要請し、鳥取市で広域緊急援助隊訓練参加中の広島県警ヘリコプター（みやじま）で救助され、国体広場に降ろされた	
	日南町	男性	50	火傷	熱湯により火傷	
		男性	70	打撲	棚の上から荷物が落下し打撲	
	日野町	男性	50		工事現場（濁谷地内砂防ダム）で下半身が土砂に埋まった	
		女性	60	右肩・腕・顔火傷		
		女性	70	頭部打撲	落下物によるけが	
		女性		右大腿挫傷		
		男性	60	右下腿切創		
		男性		顔面切創・左肩打撲		
	江府町	女性	50		カミソリで手を切る（理容所）	
		女性		右腕筋切断		
	溝口町	男性	70	右大腿部打撲傷	溝口町重傷者（女性）と同様	
		女性	70			
		女性	80	右前下腿表皮剥離	水屋の下敷き	

※ 判明分のみ。被害取りまとめ段階の資料からの抜粋であるため、一部正確ではない情報も含まれている場合がある。

家屋被害

この地震では、住家の全壊394棟など、県内22市町村で多くの建物に被害が生じた。

ただし、火災による被害は発生しなかった。

特徴的な被害については、以下のようなものであった。

(1) 液状化の被害

境港市、米子市を中心に液状化が発生、噴砂や地盤流動が生じた。境港の荷揚場も1mあまりの側方流動により地盤沈下、上屋の柱が大きく傾斜するなどの被害を受けた。米子市内の住宅地でも砂、水が噴き出し、基礎下の地盤が陥没するという被害が生じた。住宅団地では、液状化により軽微ながら基礎ごと傾いた住宅も多くあった。

(2) 中山間地の被害

傾斜地や、築後、長期間経過している家屋が多く、高齢者も3割を超えている中山間地域では、屋根土に瓦葺き、土壁、布石基礎、筋交いのない農家住宅が多く、被害が大きい。また、地域によっては、ほとんどの住宅で屋根瓦が被害を受けており、外観は無事でも建物内部で柱が折れたり、梁がはずれたりしたものもあった。

これらの地域の大きな特徴として、斜面が多いことから、石垣、擁壁が多くあり、石垣の上に直接基礎が乗っている住宅の中には、住宅が無事でも、地盤崩壊が迫ってきているもの、隣の石垣が崩れて住宅に迫ってきているものがあった。